

家畜衛生だより 令和元年10月号

紀北家畜保健衛生所 電話 073-462-0500
紀南家畜保健衛生所 電話 0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所 電話 0735-58-1481

渡り鳥のシーズンです！

鳥インフルエンザウイルスの侵入防止対策を！

近年、高病原性および低病原性鳥インフルエンザの世界的な流行が続いています。昨シーズンは幸い、国内の家きん農場において、本病の発生はありませんでしたが、国内の野鳥から低病原性の本病ウイルスが検出されていました。今シーズンもいよいよ本格的な渡り鳥の飛来シーズンとなりました。

近隣国の台湾ではここ数年、年間を通じて、家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生があり、中国やベトナム、カンボジア、ネパールでも今年、家きんの高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

これらの発生状況や海外との人の往来の活発化、渡り鳥の飛来ルートなどを考えると、今シーズンも鳥インフルエンザウイルスが国内に侵入するリスクは高いと考えられます。

ウイルスの侵入防止のため、今一度、飼養衛生管理基準を確認しましょう。

★農場へのウイルス侵入防止対策の重要ポイント

- 農場に出入りする車両を消毒しましょう。
- 家きん舎ごとに専用の長靴を使用しましょう。
すぐにできない場合は、十分に洗浄、消毒した長靴を使用しましょう。
- 家きん舎の周囲に消石灰を散布しましょう。
- 家きん舎の金網や壁の破損箇所の修繕、集卵ベルトや除糞ベルト等の隙間対策を行いましょ。
- 家きん舎周囲の清掃、整理・整頓を行いましょ。

絶対にウイルスを
入れない！

野生動物を
近づけない！

鳥インフルエンザの防疫演習を行いました

令和元年10月8日、橋本市の県立橋本体育館で鳥インフルエンザの防疫演習を行いました（共催：公益社団法人畜産協会わかやま）。演習には県や国、市町村の職員や関係団体などから、約150人が参加し、実際の農場での発生を想定した大規模な演習を行いました。



はじめに、本病の発生状況や、発生した場合の防疫対応について、机上演習を行いました。その後、動員された県職員は作業前検診を受けて、バスに乗り込み、乗り込んだバスの消毒や、鶏のぬいぐるみと炭酸ガスを用いた殺処分の模擬演習などを行いました。

今回の演習により、関係者間で、発生時の具体的な作業の確認やイメージの共有ができた一方で、今後に向けた改善点も見つかりました。万が一、発生した場合には、迅速な防疫対応が行えるよう、今後も様々な準備や体制づくりをしていきますので、養鶏農家の皆様も、本病の発生防止のため、ウイルスの侵入防止対策の徹底をお願いします。

下記の症状を発見したら、直ちに家畜保健衛生所に通報してください！

- 同一の家きん舎内における1日の死亡率が、過去3週間の平均死亡率の2倍以上となっている場合
- 鶏冠、肉垂等のチアノーゼ（青紫色）、沈うつ、産卵率の低下等の症状が見られる場合
- 5羽以上の家きんが、まとまって死亡している、又はまとまっとうずくまっている場合